



NO.022

FAS通信

平成17年2月号
株式会社福地建築

上磯町中野通321番地
TEL0138-73-5558

性能の良い家が必要か

「この地域は、そんなに寒くないから、北海道のような気密や断熱の性能は必要ないんだ。」という人達があります。

本当でしょうか？四国や、九州の宮崎や五島列島の展示会で出会ったお客様に聞いてみると、「家の中に居ても手足が冷たくなってしょうがない」とか「寒くてたまらない」、「家の中が外と変わらない寒さだ」、「寒くて朝起きるのがつらい」などなど、という言葉を目にします。それがいざ家を建てるとなると、美観ばかりにお金をかけて、寒さ暑さを我慢をして生活をしていく。

性能の良い家に住みたいのだけれど、予算を考えるとまずは、その部分から削られていきます。そして最後は「この地域はそんなに寒くないから、そこまでの性能の家は必要がないんだ」という言葉に変わっていくのはなぜなのでしょう。どうして、何十年も住んでいく家で我慢をするのでしょうか。あるいは、24時間連続の暖房や冷房はもったいないという声も聞こえてまいります。確かに個別暖房・冷房の家（暖房機のある部屋だけが暖かい）で隙間がたくさんあるような住宅（隙間相当面積が $7\text{cm}^2 / 1\text{m}^2$ 以上）ならば、いくら暖めても、いくら冷やしてもどんどん外に排出されてしまい、エネルギーというお金を捨ててしまうこととなります。

また、住宅にそんな性能はこの地域には必要がないという、本当の家の性能に無知な工務店さんも多数おります。

実際に、隙間相当面積が $1\text{cm}^2 / 1\text{m}^2$ をきれいのような住宅を何十棟も建築して、そしてそこでいろいろな問題点を発見し信念として、高気密・高断熱をしないのならわかりますが、多くが高気密・高断熱をしようとしたがうまくいかなかった。当然、お金がたくさんかかって儲けがなくなった。このような単純な理由から高性能住宅からリタイアした工務店が多数、存在します。

ファース登録工務店の皆様やファース販売代理店、立山アルミは、住まい塾や住まい講座、各種勉強会を通して、住宅のあるべき姿を日々追求しております。

性能の違いを語れば

日本のサッシの性能は、先進国で最も性能が悪いと言われます。温暖地に行くといまだにアルミサッシで一枚ガラスの使用が多い地域も少なくありません。窓などの開口部の面積は、屋根や壁、床などを含んだ家全体の面積から比較するとたったの1/5程度ですが、家全体から逃げるエネルギーで見るとなんと3割のエネルギーが窓などの開口部から逃げているのです。つまり、家の中で一番断熱性が弱いのは窓なのです。

したがって、本来あったかい家、涼しい家を建てたいのならば、断熱性能の良い窓を使用しなければならないのですが、温暖地に行くといまだに一枚ガラスやアルミサッシが多く使用されております。前述のお話にもありましたように、本当に科学を知った家づくりや、売らんがための家づくりをしなればもっと家の性能がよくなり、お客さまが、何十年にわたり快適にすごせる家ができるのだと考えます。

多の知恵

～歯磨き粉は万能選手～

身の回りには、ガラスを使った製品が多いよね。ガラスや窓から、小物入れやアクセサリ、腕時計の文字盤なんてのもあるね。でも、良く見ると細かい傷がついている、そんなことないかな？

こんな擦り傷に良く効くのが、歯磨き粉なんだよ。

歯磨き粉をガーゼにつけて伸ばして、ガラスにすりこんでゆっくり磨いて、乾燥させるんだ。これを何回か繰り返して、最後に乾いたガーゼで磨けば、気になっていた傷も驚くほど目立たなくなるんだよ。黒ずみや汚れが、すっきりとれて、きれいになるんだ。

この技は、ステンレスの流し台にも使えるんだよ。ステンレスを歯磨き粉で磨いたら、驚くほどきれいになって、新品同様になるんだ。蛇口なんかはピッカピカ！一度試してみてください。他にも、銀製品の黒ずみ取りにもいいんだ。でも、メッキのものや、塗装された製品は、磨くと剥がれる恐れがあるから、要注意してね。ミントの香りも残してさわやかだし、汚れも傷もサヨウナラ。万能歯磨き粉、歯だけに使うんじゃ、もったいないからね。

